

## 明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 開催状況

<b>1 会議名</b>	令和2年度第2回明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
<b>2 開催日時</b>	2020年（令和2年）10月16日（金曜日）13時25分～14時55分
<b>3 開催場所</b>	明石市役所議会棟2階 大会議室
<b>4 出席者</b>	分科会委員（出席者8名）
<b>5 内容</b>	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画の基本理念について</p> <p>（2）人口、認定者数の将来推計について</p> <p>（3）介護保険施設等の整備（案）について</p> <p>（4）介護保険料の設定（案）について</p> <p>（5）その他</p> <p>3 閉会</p>
<b>6 配付資料等一覧</b>	<p>（1）令和2年度第2回明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会次第</p> <p>（2）資料1 第8期計画の基本理念について</p> <p>（3）資料2 人口、認定者数の将来推計について</p> <p>（4）資料3 介護保険施設等の整備（案）について</p> <p>（5）資料4 介護保険料の設定（案）について</p> <p>（6）SDGs 未来安心都市明石市 チラシ</p> <p>（7）みんなで認知症あんしんプロジェクト チラシ</p>
<b>7 会議の議事録</b>	<p>詳細については別紙参照</p>

## 議事録 内容記録

<b>事務局</b>	<b>1 開会 (13時25分)</b> 本会議は、委員8名全員出席しており、明石市社会福祉審議会規則第4条第3項の規定に定める開催要件を満たしていることを報告する。
<b>専門分科会長</b>	<b>2 議事</b> 以降の議事は次第に沿って進行させていただく。
<b>事務局</b>	「(1) 明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画の基本理念について」、資料に沿って説明。
<b>専門分科会長</b>	質問、意見等はないか。
<b>委員</b>	高齢者の一番の負担は介護保険料が上がっていくということだが、高齢者がいつまでも元気であるために介護予防の取り組みをすすめることで、適正な負担(保険料)になると思う。資料1の施策7「健康づくりの推進・意識の向上」の項目を詳しく説明してほしい。
<b>事務局</b>	フレイル予防も大事であるが、健康に対して無関心な層や現役世代の方にあらゆる方法を使って「健康」についての意識啓発に努めていきたい。
<b>事務局</b>	介護予防の取り組みであるが、現状は出前講座や体操の自主活動グループの支援など地域の方と一緒に取り組んでいる。高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、国の方向性が出ているので、客観的なデータを用いて、関係機関と連携しながら予防効果を高めるような取り組みを示せるようにしていきたい。
<b>委員</b>	施策の方向性の中身について、ほとんど社会福祉協議会が実施しているような感じがするが、今後は市が主体的に実施していくということなのか。
<b>事務局</b>	市が実施する事業や社会福祉協議会をはじめとする関係団体に実

	<p>施していただく事業など様々であるが、各事業とも連携して実施していく予定である。また、次回の会議時に具体的な取り組み内容が記載された素案を示していく予定である。</p>
<b>委員</b>	<p>市としては、今後、いつごろどういった状態になっていくことを想定しているのか。</p>
<b>事務局</b>	<p>明石市の基本理念としては国の指針及び県の基本方針をふまえて、全体像としては「地域で支え合い 安心して暮らせるまちづくり」を目指しており、地域で皆様と一緒に（支援が必要な人を）支えていくことをこの計画の中で定めていく予定である。また介護保険事業計画では2025年や2040年を見据えて、サービス量も含めて検討していく。</p>
<b>委員</b>	<p>7期計画でうまくいかなかった項目とその理由、それに対する策を次回に示していただければと思う。</p>
<b>委員</b>	<p>前回の会議の時に示していただいた資料では、就労している高齢者が増えているとなっていたので、資料1の施策6の「高齢者の活躍できる場の充実と社会参画の推進」の中に就労と健康づくりを一体的な取り組みとして入れていただきたい。</p>
<b>委員</b>	<p>「地域で支え合い 安心して暮らせるまちづくり」ということは地域抜きでは考えられないと思うが、地域に期待される役割とはどのようなものか。</p>
<b>事務局</b>	<p>みんなで支え、支えられる関係を地域で作り、誰もが役割や生きがいを持って社会に参加できる「地域共生社会」づくりと考えている。</p> <p>まちづくり協議会をはじめ、民生児童委員や地区社会福祉協議会など、みなさんが活躍されている中で、市としても、市内に6か所設置している地域総合支援センターを中心として、支え合いの体制を構築しているところである。また、より身近な相談所として地域支え合いの家やサロンや認知症カフェなどの活動がある。方向性としては、個人に地域参加を促し、小さな拠点を作り、これらの取り組みを充実させていくということを地域の方と行っていきたいと考えている。</p>
<b>専門分科会長</b>	<p>事務局から説明のあった内容と委員の皆様からの意見を踏まえて、</p>

	<p>計画の策定を進めていきたいと思う。</p>
<b>事務局</b>	<p>「(2) 人口、認定者数の将来推計について」、資料に沿って説明。</p>
<b>専門分科会長</b>	<p>質問、意見等はないか。</p>
<b>委員</b>	<p>特になし。</p>
<b>事務局</b>	<p>「(3) 介護保険施設等の整備(案)について」、資料に沿って説明。</p>
<b>専門分科会長</b>	<p>質問、意見等はないか。</p>
<b>委員</b>	<p>資料の中で地域密着型特別養護老人ホームが足りていないということだが、その理由としては、投資したものに対して償還できないことと人材確保の問題が大きいと感じる。また説明の中で定期借地権の補助があるということを説明していたが、詳しい内容を教えてほしい。</p>
<b>事務局</b>	<p>定期借地権の補助については、兵庫県の補助要綱に記載があるので紹介したが、詳細については確認させていただく。</p>
<b>委員</b>	<p>市街化調整区域で施設を建設するという説明もあったが、地域密着型の施設というのは、地域との様々なかかわりがあるところがある良さであり、住宅地から離れると従来型の特別養護老人ホームとあまり変わらない。できれば、住宅地の中で様々な方がその施設にかかわることができるほうが良いと思う。また人材の確保についてであるが、外からの人材を確保するために、家賃補助や長年明石市で介護職を続けている方を評価する制度があればありがたいと思うので、検討していただきたい。</p>
<b>委員</b>	<p>資料3のP3(3)②の「介護老人保健施設」については、今のところ待機者で困っている状況ではあまりなくなってきているということか。</p>
<b>事務局</b>	<p>そのように理解している。</p>

委員	介護医療院については、今回は整備予定を見込まないという記載だが、できれば整備したいということか。
事務局	介護医療院を必要とする市民はおり、市外の施設に入っている方もいるので、どうしていきべきか今後も考えないといけないと思っている。ただ次期計画については療養病床からの転換の希望がないということ踏まえた計画になっている。
委員	介護医療院がなく、その受け皿として、看護小規模多機能居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護などを整備、というのは理想としては良いが、人材確保の面でも、やはり施設に集約するほうが効率的だと思う。
事務局	「(4) 介護保険料の設定(案)について」、資料に沿って説明。
専門分科会長	質問、意見等はないか。
委員	基金を取り崩していったときに、基金が底をつくことはないのか。またその時保険料は大きく跳ね上がることになるのか。
事務局	基金は過去の年度ごとの余剰分を積み立ててきたものであり、今回基金を大きく取り崩すと将来的な基金の枯渇にもつながりかねないので、次の3年を見据えて、試算させていただいている。
事務局	基金の残額が約31億円で今回は12.5億円を取り崩すと仮定しているが、当然基金は減っていく。2025年や2040年の将来を見据えつつ、また今後、保険料が急に上昇することのないように考えていきたい。
委員	保険料の滞納者は増えてきているのか。またその対策はどうしているのか。
事務局	現年度分と滞納繰越分を合わせると1,600人ほどの方が滞納している。収納率は98.8%を見込んでいたが、昨年度は99.25%で計画を上回っており、今年度も同様の水準である。また滞納者への対策としては、毎月の督促状や年に数回の催告書の送付などにより、納付するように粘り強く対応を行っているところである。長期の滞納者について

	<p>は、財産の差し押さえなどの徴収事務も行っている。</p>
<b>委員</b>	<p>近隣他都市の第8期の介護保険料の状況はどうなっているのか。</p>
<b>事務局</b>	<p>現時点での他都市の保険料の状況は、まだ把握していない。3年間の必要なサービス量を見込んで、サービスの確保を図っていきたい。</p>
<b>委員</b>	<p>保険料を抑えるためには、ニーズを集約してコストを抑えることも必要。高齢者のニーズに応えつつ、例えば老健や介護医療院を増やすことで、医療度の高い人のニーズを集約できるなど、設備的なアレンジで費用を抑えるなどのシミュレーションを考えたことはあるか。</p>
<b>事務局</b>	<p>正確な分析はしていない。</p>
<b>委員</b>	<p>費用をできるだけ抑えるために、そうしたことも検討していただきたい。</p>
<b>事務局</b>	<p>特別養護老人ホームの待機者で老人保健施設やサービス付き高齢者向け住宅などに入所されている方もいると思う。介護医療院については、整備した場合、医療給付から介護給付に流れる分、介護保険料に反映されるので、需要と供給のバランスを見極めながら考えていきたいと思う。</p>
<b>委員</b>	<p>施設整備をすると、介護給付が増えてその分保険料に反映されてしまう。老人保健施設と介護医療院が似た立ち位置にあり、老人保健施設に入所されている方の中には特別養護老人ホームの待機者もいるので、老人保健施設を特別養護老人ホームに転換するなど施設の整理をしながら、保険料を下げることも一つの方法だと思う。</p>
<b>委員</b>	<p>次期計画には、支援が必要になる前のフレイルのおそれのある高齢者に対する取組みや地域共生社会を進める中で、高年クラブ、地域団体などがどういったことをしていけばよいのかを示してほしい。</p>
<b>専門分科会長</b>	<p>「(5) その他」について、全体を通して、質問、意見等はないか。</p>
<b>委員</b>	<p>地域では、「助け合い」や「つながり」といった言葉をよく聞くよ</p>

	<p>うになってきているが、市としては、どのような「助け合い」のまちの実現を目指しているのか。また「つながり」とはどのような意味なのか。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>支援を必要とされている方には、民生児童委員やボランティアなどが支援するとともに、地域では支え合いの家やいろいろな居場所を作っている。将来的には一般市民も含めて、「寄り添う」、「気にかける」などの目配りや気配りできる地域ができれば良いと考えている。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>先日、地域でグループホーム建設に関する事業者による住民説明会があったが、会が紛糾したと聞いている。こういった場合、市としての支援体制はあるのか。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>地域に対する説明会などは事業者が対応するものであるが、市民から市に問い合わせがあった場合などは、グループホームの意義や誤解を解くように丁寧な説明を事業者とともにしており、地域住民に理解を得られるように努力していきたいと考えている。</p>
<p><b>専門分科会長</b></p>	<p>地域の方は施設の建設前はだいたい「反対」することが多いが、建つと真逆の評価に変わるというのが研究論文にもある。多くの場合は住民の無理解というところが多いのだが、地域と施設の摩擦がなくなるように、市にもその調整役を担っていただければありがたい。</p>
<p><b>専門分科会長</b></p>	<p>今後は、いただいた意見も参考にして、当会議を進めていく。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>次回の開催日程は、11月20日 13時30分を予定している。</p> <p><b>4 閉会 (14時55分)</b></p>